

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	解剖学3	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書（解剖学 ー社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。				
担当教員情報					
担当教員	千坂 英輝		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
柔道整復学の基礎となる人体の正常構造について、組織学、発生学、画像解剖学の知識とともに統合的に理解することを主な目的としている。脳神経、脊髄神経、自律神経、脈管系を学び、基礎医学、臨床医学の基礎をつくるのがねらいである。教科書の図に合わせ適宜プリントを配布するとともに各種模型を用いてそれぞれの器官について三次元的にイメージが出来るよう注意を払い、近年の医療革新からくる身体構造の知識の必要性に答えながら、上記関連学問と関係づけて授業を進める。					
到達目標					
人体構造の系統を把握し、人体の正常構造について統合的に理解し、器官と部位の解剖用語を理解する。脳神経、脊髄神経、自律神経、脈管系等について器官の肉眼解剖学的構造と細胞・組織構造を関連づける。器官の三次元的関係を把握し、画像解剖学と対応させながら、説明でき、単に人体部位の名称の羅列ではなく、有機体としての人体の構造を自然科学の視点で捉え、基礎科目・臨床科目の学習の基盤となりうる、知識の基礎を身につけることを到達目標とする。					
授業概要	脳神経、脊髄神経、自律神経、脈管系について正常構造を統合的に理解し、器官を三次元的に把握してそれらを細胞・組織構造と関連付けて説明出来るレベルに到達することを目指す。				
注意点	医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	脳神経1		嗅神経～滑車神経について理解する。		
2回	脳神経2		三叉神経について理解する。		
3回	脳神経3		外転神経～舌咽神経について理解する。		
4回	脳神経4		迷走神経～舌下神経について理解する。		
5回	脊髄神経1		頸神経叢について理解する。		
6回	脊髄神経2		腕神経叢～正中・橈骨・尺骨神経について理解する。		
7回	脊髄神経3		橈骨神経、胸神経と腰神経叢について理解する。		
8回	振り返り(1)		1回～7回までの振り返り		
9回	脊髄神経4		腰神経叢～仙骨神経叢について理解する。		
10回	脊髄神経5		仙骨神経叢～脊髄神経の終わりについて理解する。		
11回	自律神経		自律神経について理解する。		
12回	脈管系1		脈管系の総論について理解する。		
13回	脈管系2		心臓の概説について理解する。		
14回	振り返り(2)		9回～13回までの振り返り		
15回	解剖学3のまとめ		解剖学3全体を通しての振り返り		